取扱説明書

FlexScan®
L676

液晶カラーディスプレイ

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば⚠は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止の行為を示すものです。たとえば⃠は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。たとえば⏚は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会（旧日本電子工業振興協会）の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン（PC-11-1988）に適合しております。

本装置は、平成6年10月3日付け通商産業省資源エネルギー庁公益事業部長通達、6資公部 第378号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本装置は、エコマーク認定基準に定められた「機器のリサイクルに適した設計」に基づいて設計されています。

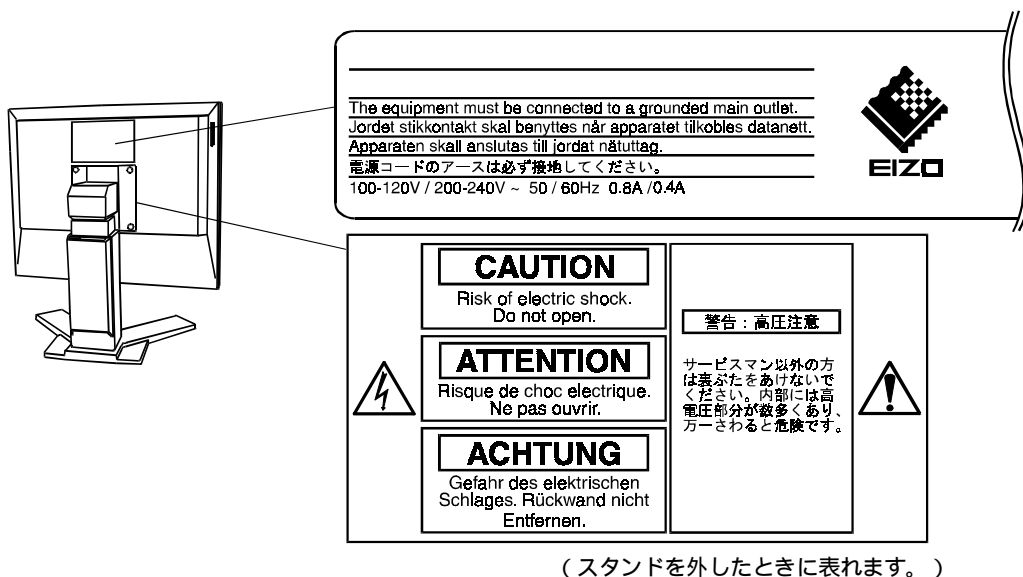
もくじ

⚠ 使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
- ご使用になる前には、「使用上の注意」およびディスプレイ背面の「表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。

【背面警告表示位置】

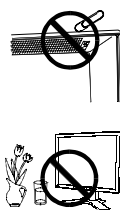
（スタンドを外したときに表れます。）

⚠ 警告

● **万一、異常現象（煙、変な音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する** そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。	
● **裏ぶたを開けない、製品を改造しない** 本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。	
● **修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する** お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。	

⚠ 警告

● **異物を入れない、液体を置かない**

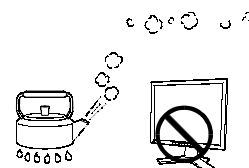
本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

● **ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所に置かない**

転倒・落下により、けがの原因となります。
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

● **次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

● **プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する**

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

● **付属の電源コードを100VAC 電源に接続して使用する**

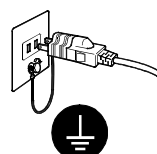
付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。

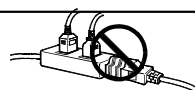
⚠ 警告

- **電源コードや電源プラグを抜くときは、プラグ部分を持つ**

  コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

- **電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する**

  なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
  二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

- **次のような誤った電源接続をしない**

  誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
  - 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
  - タコ足配線。

- **電源コードを傷つけない**

  電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

- **雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない**

  感電の原因となります。

- **アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機スタンドを固定しているネジを使用し、確実に設置する**

  確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず、同じネジを使用してください。

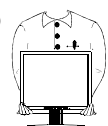
⚠ 警告

- **液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない**
  もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
  万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

- **ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない**
  本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、

⚠ 注意

- **運搬のときは、接続コード、i・Sound（オプションスピーカー）を外す**
  コードを引っ掛けたり、移動中にi・Soundが外れたりして、けがの原因となります。

- **本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つようにしてください**
  落としたりするとけがや故障の原因となります。

- **通風孔をふさがない**
  - 通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かない。
  - 風通しの悪い狭いところに置かない。
  - 横倒しや逆さにして使わない。

⚠ 注意

- **濡れた手で電源プラグに触れない**
  感電の原因となります。

- **電源プラグの周囲にものを置かない**
  火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

- **電源プラグ周辺は定期的に掃除する**
  ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

- **クリーニングの際は電源プラグを抜く**
  プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

- **本製品を長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く**

快適に正しくご使用いただくために

- 無理な姿勢で長時間使い続けると健康を損ねる原因となることがあります。以下の点に注意してご使用ください。
  - イスに深く腰掛け、背筋を伸ばす
  - イスの高さを足の裏全体が着く高さに調節する
  - 両手が床とほぼ平行になるようにする
  - ディスプレイ画面は目の高さよりやや低い位置に設置する

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてディスプレイ画面の明るさを調整してください。

- 長時間ディスプレイ画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

液晶パネルについて

- 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

- 液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。
（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面表示を黒い画面に変更すると解消されることがあります。）

- 液晶パネルをペン先やピンセットなどの固いものや先の尖ったもので押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

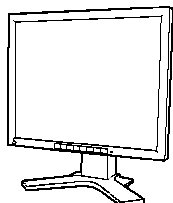
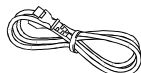
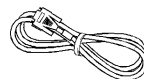
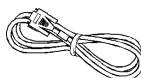
第1章はじめに

このたびは当社液晶カラーディスプレイをお買い求めいただき､誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 2系統信号入力搭載
- DVI(p.46)デジタル入力（TMDS(p.47)）対応
- 水平周波数：27～82kHz
  垂直周波数：50～85Hz（1280×1024モード時：50～75Hz）
  表示解像度：1280ドット×1024ライン
- 拡大表示時の画面調整にスムージング（ソフト～シャープ）機能搭載
- オートアジャスト機能、画面調整ソフト（付属）による容易な画面調整
- ColorManagement機能搭載
- USBハブ機能搭載
- 高さ調節機能付きスタンドによる、自在な高さ調節
- スリムエッジ（狭額縁）仕様
- 縦型表示対応（PIVOTソフトウェア添付）

1-2. 梱包品の確認

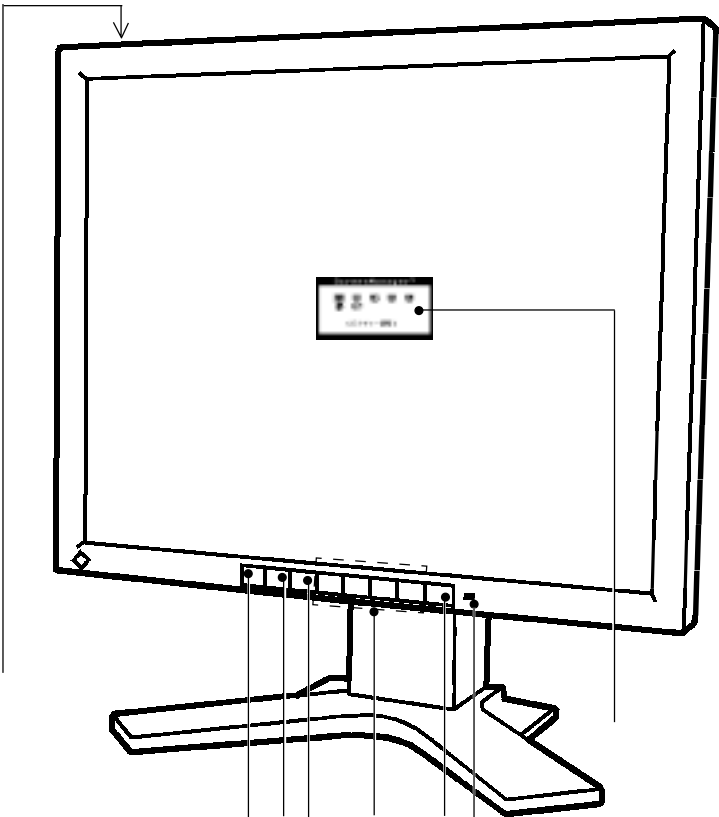
以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

注意点

● PIVOT ソフトウェアは試供品となっております。
ご使用のコンピュータとの動作確認結果をポートレイトディスプレイ株式会社のホームページ(http://www.portrait.co.jp)にてご確認のうえ、ご利用ください。

参考

● 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

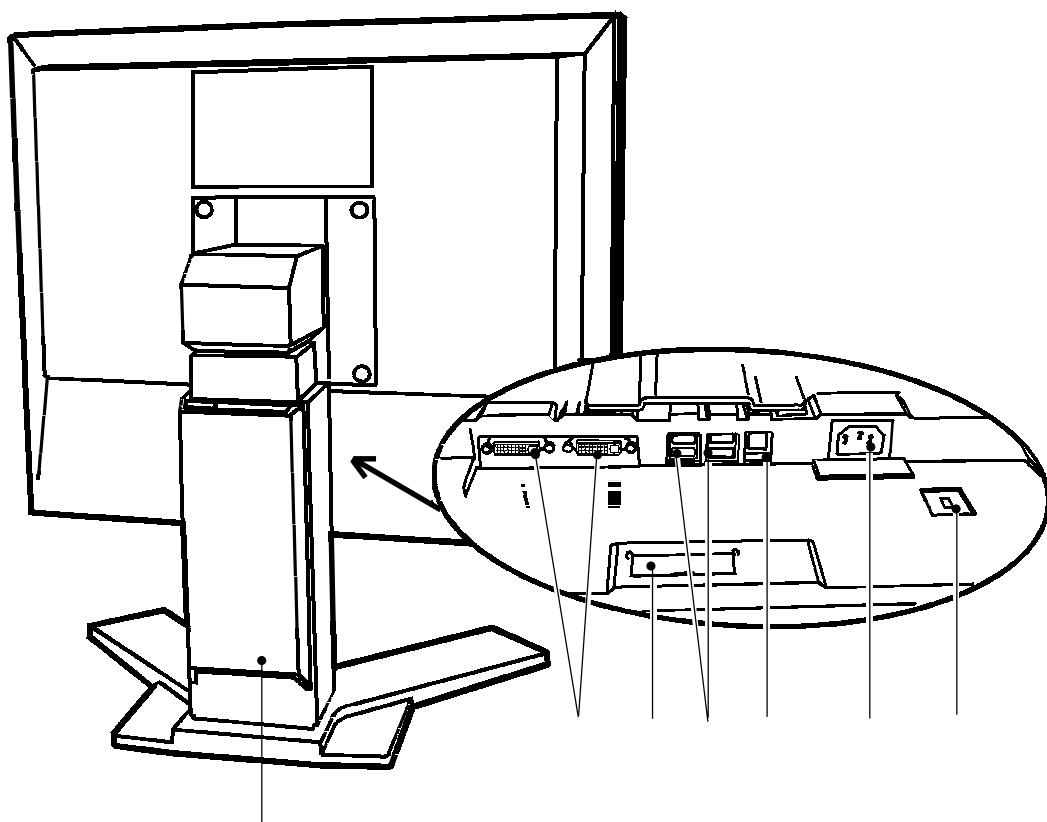
1-3. 各部の名称

前面

① 主電源スイッチ
② 入力切り替えボタン
③ オートボタン
④ エンターボタン
⑤ コントロールボタン
⑥ 電源ボタン
⑦ 電源ランプ※1

色	ディスプレイの状態
緑	オペレーションモード
黄	節電モード
黄 2 回点滅	節電モード（デジタル信号入力時）
黄ゆっくり点滅	電源ボタンオフ状態（主電源スイッチオン）

⑧ ScreenManager™

※1 オフタイマー設定時の電源ランプ表示についてはp.21を参照してください。

背面

⑨　高さ調節機能付きスタンド※2
⑩　DVI-I 入力コネクタ　×　2
⑪　i･Sound™（オプションスピーカー）用電源端子カバー（底面）
⑫　USB ダウンストリームポート（4 ポート）
⑬　USB アップストリームポート（1 ポート）
⑭　電源コネクタ
⑮　盗難防止用ロック※3

※2　本機はディスプレイの縦型表示に対応しています。（時計回りに90度回転させることができます。）p.11の注意点を参照のうえ、付属のPIVOT Softwareをインストールしてご利用ください。
また、本機はスタンド部分を取り外してアーム（別のスタンド）を取り付けることができます。（p.37 参照）

※3　盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

第2章 接続手順

2-1. 接続の前に

今まで使用していたディスプレイを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に下表を参照して、必ず本機で表示できる画面設定（解像度p.47）、周波数）に変更しておいてください。

アナログ信号入力をする場合

解像度	垂直周波数	備考
640 X 400	70 Hz	NEC PC-9821シリーズ
640 X 480	～85 Hz	VGA, VESA
640 X 480	66.67 Hz	Apple Macintosh
720 X 400	70 Hz	VGA TEXT
800 X 600	～85 Hz	VESA
832 X 624	75 Hz	Apple Macintosh
1024 X 768	～85 Hz	VESA
1152 X 870	75 Hz	Apple Macintosh
1152 X 900	76 Hz	SUN WS
1280 X 960	75 Hz	Apple Macintosh
1280 X 1024	67 Hz	SUN WS
1280 X 1024	～75 Hz	VESA

参考

- **ディスプレイのプラグアンドプレイ機能について**
  本機はプラグアンドプレイに対応していますので、お使いのコンピュータがVESA DDCに対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

デジタル信号入力をする場合

下記解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	備考
640 x 480	60 Hz	VGA
720 x 400	70 Hz	VGA Text
800 x 600	60 Hz	VESA
1024 x 768	60 Hz	VESA
1152 x 864	60 Hz	VESA
1280 x 960	60 Hz	VESA
1280 x 1024	60 Hz	VESA

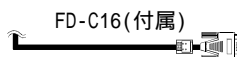
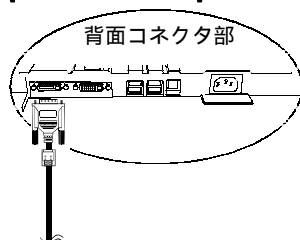
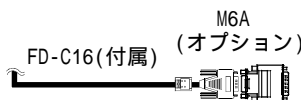
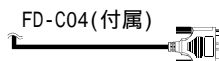
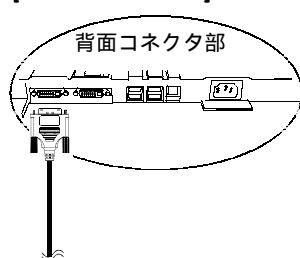
2-2 接続手順

注意点

- **ディスプレイとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。**

1. 信号ケーブルをDVI-I入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

[アナログ信号入力]

[デジタル信号入力]

注意点

- **Power Macintosh G4/G4 CubeのADC（Apple Display Connector）には対応していません。**

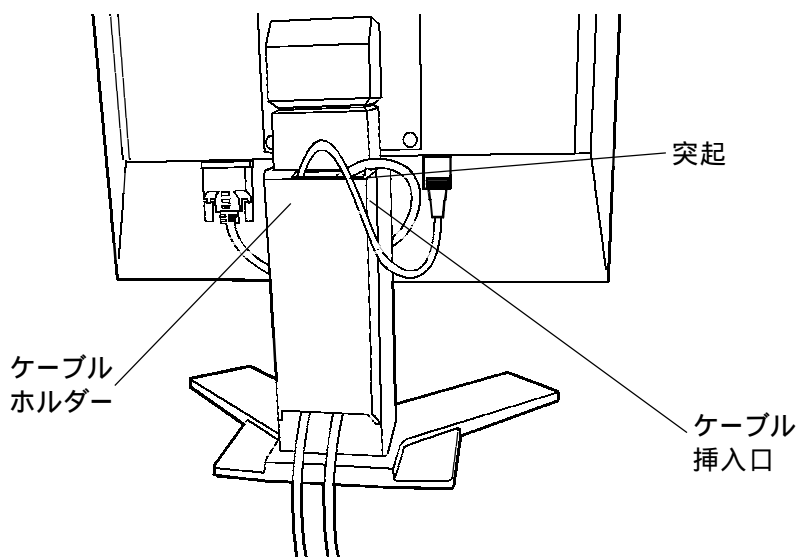
2. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

⚠ 警告

- **付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する**
  付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
  誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

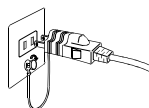
3. ケーブル類をスタンドのケーブル挿入口から、ケーブルホルダーに引き回して収納させます。

注意点

- ケーブル類をケーブルホルダーに収納する際、またはケーブルホルダーから排出する際は、ケーブル挿入口の突起をつまんでケーブル挿入口を開閉させておこなってください。
- ケーブル類を収納する際は、スタンドの昇降を考慮して、長さに多少の余裕をもたせてください。また、ケーブル挿入口側にケーブル類を引き回して収納させてください。

4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

⚠ 警告

- **二芯アダプタを使用する場合は、安全および電磁界輻射低減のためアースリードを接続する**

  なお、アースリード線は電源プラグを電源につなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースがコンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

5. 電源を入れます。

ディスプレイの電源ボタンを押して電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

電源ランプが点灯（緑色）し、画面が表示されます。

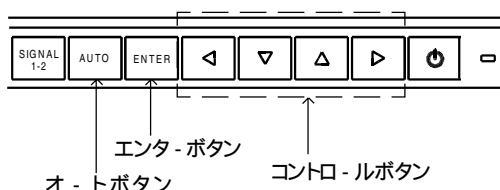
電源を入れても画面が表示されない場合には、「第 9 章　故障かなと思ったら（p.39）」を参照してください。

使用後は、電源を切ってください。

- 電源を入れると、画面右上に入力されている信号の種類（シグナル１または２ / アナログまたはデジタル）がおよそ 2 秒間表示されます。

第 3 章 ScreenManager

3-1. 操作方法

ScreenManagerはディスプレイの調整に使用し、メインメニューとサブメニューがあります。調整はフロントパネル上のエンターボタンと、上・下・左・右のコントロールボタンでおこないます。

1. メニューの表示

フロントパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。

＜メインメニュー＞

2. 調整 / 設定

① コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
② コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
③ コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。

3. 終了

① サブメニューより＜リターン＞を選択し（‘下’のボタンを2回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
② メインメニューより＜メニューオフ＞を選択し（‘下’のボタンを2回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、ScreenManagerを終了します。

参考

- エンターボタンをすばやく続けて2回押すと、どの調整画面からでもScreenManagerを終了させることができます。

3-2. 機能一覧

ScreenManager の調整、および設定項目一覧表です。
「*」はアナログ信号入力のみのメニュー、「**」はデジタル信号入力のみのメニューです。

メインメニュー	サブメニュー		調整 / 設定内容
ピクチャー調整	クロック *		「第 4 章　画面調整 / 設定」参照 (p.22)
	フェーズ *		
	ポジション		
	解像度		
	スムージング		
	コントラスト / ブライトネス		
	信号フィルタ *		
Color-Management	レンジ調整 *		
	スタンダードモード	色温度	
	カスタムモード	色温度	
		色の濃さ	
		色合い	
		ゲイン	
		セーブ	
Power-Manager	DVI　DMPM**		
	VESA　DPMS*		
	EIZO　MPMS*		
その他	拡大モード		
	ボーダー		
	オフタイマ -		タイマーを設定（p.21）できます。
	入力プライオリティ		優先的に表示される信号を選択できます。（p.36）
	ビープ音		ビープ音を設定できます。（p.45）
	メニュー設定	メニューサイズ	メニューサイズを拡大できます。
		メニューポジション	メニューの位置を移動できます。
		メニューオフタイマー	メニューの表示時間を設定できます。
		半透明	メニューの透明度を設定できます。
		回転	メニューを 90 度回転できます。
	リセット		設定状態を初期設定に戻すことができます。（p.45）
インフォメーション			設定状況および機種名、製造番号、使用時間※1 が確認できます。
言語選択	英語･ドイツ語･フランス語 スペイン語･イタリア語･ スウェーデン語･日本語		ScreenManager の言語が選択できます。

※1　工場での検査などのため、出荷時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3-3. 特殊機能

調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	● ScreenManagerによる調整/設定 ● オートボタン
ロックされない機能	● コントロールボタンによるコントラスト/ブライトネス調整 ● 入力切り替えボタン

- 設定方法
  フロントパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら電源を入れると、調整ロックがかかり画面が表示されます。
- 解除方法
  フロントパネルの電源キーを押していったん電源を切ります。その後、オートキー押しながら再度電源を入れると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

EIZOロゴ非表示機能

フロントパネルの電源ボタンで電源をオンさせた時に、EIZOロゴが表示されます。ロゴの表示をさせたくないときにご利用ください。

- 設定方法
  フロントパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、ロゴの表示がされなくなります。

- 解除方法
  フロントパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、再びロゴが表示されます。

タイマー機能

ディスプレイの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にディスプレイの電源がオフされます。ディスプレイに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象p.46)を軽減させるための機能です。一日中同じ画面を表示させておくような場合にご利用ください。

[設定方法]

①ScreenManager＜その他＞メニューより＜オフタイマー＞を選択します。
②「有効」を選択した後、ディスプレイの使用時間（1H～23H）を設定します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	ディスプレイの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	緑点灯
設定時間終了15分前	予告期間※1 (ピピッと音がします。)	緑点滅
設定時間終了後	電源オフ	黄ゆっくり点滅

※1 予告期間中にフロントパネルの電源ボタンを押すと、押した時点から90分延長することができます。延長は制限がなく何度でもできます。

[復帰方法] フロントパネルの電源ボタンを押します。

注意点

- **節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。**

第4章 画面調整/設定

4-1. 画面調整

注意点

- **調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。）**

デジタル信号入力の場合の画面調整についてはp.26を参照してください。

アナログ信号入力

液晶ディスプレイの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、ディスプレイを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManagerを使用して画像を調整していただくことをおすすめします。付属のユーティリティディスクに画像調整用プログラムが含まれていますのでご利用ください。

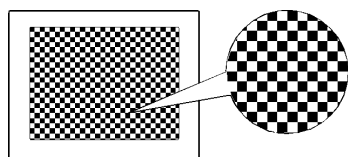
1. フロントパネルのオートボタンを押します。

“もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます”のメッセージが５秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、オートアジャスト機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます）、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。

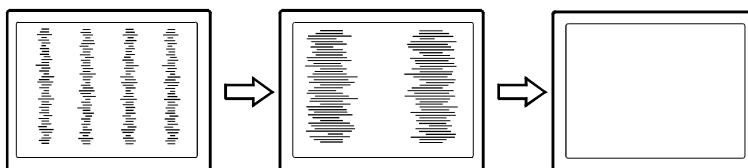
オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。

2. 画面調整用 プログラムをインストールします。

「EIZO　LCDユーティリティディスク」（付属品）より、ご使用のシステムに対応した‘画面調整用プログラム’をディスク内のreadmeja.txtあるいは「お読みください」ファイルにしたがって、インストールし起動します。
起動後はプログラムの指示にしたがって調整してください。

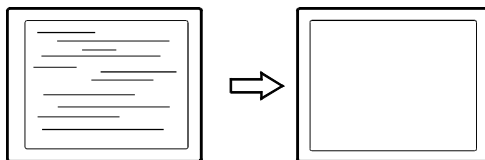
- ご使用のシステムに対応したプログラムがない場合は、画面に１ドット抜きのパターン（下記参照）などを表示して以下の手順に進んでください。

3. ScreenManager の＜ピクチャー調整＞により調整します。

(1) 画面上に縦縞が出ている場合
→ クロックp.46) で調整します。

＜クロック＞を選択し、左･右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2) フェーズ調整」にすすみ調整をおこなってください。

注意点

- **クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。**

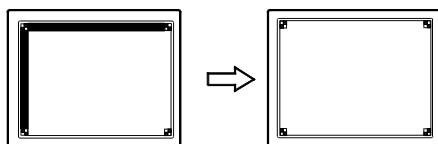
(2) 画面全体がちらついたり、にじむようにみえる場合
→ フェーズp.47) で調整します。

＜フェーズ＞を選択し、左･右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。

注意点

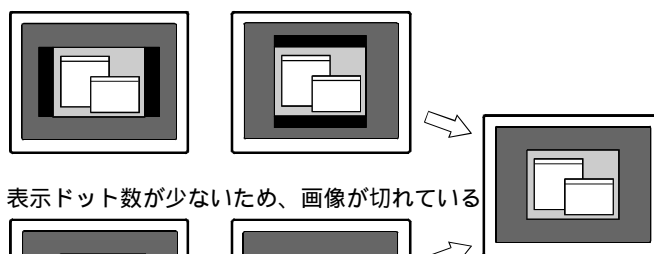
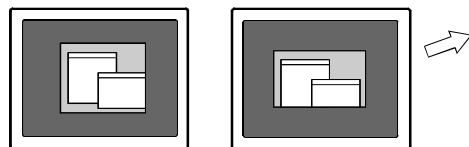
- **お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。**

(3) 画面の表示位置がずれている場合
→ ポジションで調整します。

液晶ディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は１箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

＜ポジション＞を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上･下･左･右のコントロールボタンで調整します。
調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

(4) 余分な画像が表示されていたり、画面が切れている場合
→ 解像度を確認します。

入力信号の解像度と、解像度調整画面に表示されている解像度が異なる場合に調整します。

＜解像度＞を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。

4. 信号の出力レベル（ダイナミックレンジ）を調整します。

→ レンジ調整p.47） **で調整します。**

信号の出力レベルを調整し、全ての色階調（0～255）を表示できるように調整します。

＜ColorManagement＞メニューより＜レンジ調整＞を選択し、レンジ調整画面を表示させます。

［自動調整］

調整画面を表示させた状態で、フロントパネルのオートボタンを押します。レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。（調整にしばらく時間がかかります。）

参考

- 直接コントロールボタンを押して、コントラスト/ブライトネスの調整画面を表示させた状態で、オートボタンを押してもレンジの自動調整ができます。

5. コントラストを調整します。

→ コントラストで調整します。

赤・緑・青の信号の明るさを同時に調整し、お好みの状態に調整します。

＜ピクチャー調整＞メニューより＜コントラスト/ブライトネス＞を選択し、左･右のコントロールボタンで調整します。

注意点

- **調整値が100%を超えると、全ての階調を表示できないことがあります。**

6. 明るさを調整します。

→ ブライトネスで調整します。

バックライトの明るさを調整し、画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

＜ピクチャー調整＞メニューより＜コントラスト/ブライトネス＞を選択し、上･下のコントロールボタンで調整します。

参考

- 直接コントロールボタンを押しても、コントラスト/ブライトネスの調整ができます。調整後はエンターボタンを押してください。

デジタル信号入力

デジタル信号入力は本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。
表示位置がずれていたり、画面が切れていたりする場合は、ScreenManager の＜ピクチャー調整＞を使用して以下の調整をしてください。

注意点

- **調整はディスプレイの電源を入れて、20 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 20 分かかります。）**

1. 画面の表示位置がずれている場合
→ ポジションを調整します。
調整方法については P.24 を参照ください。

2. 余分な画像が表示されていたり、画面が切れている場合
→ 解像度を確認します。
調整方法については p.24 を参照ください。

3. コントラストを調整します。
→ コントラストで調整します。
調整方法については P.25 を参照ください。

4. 明るさの設定
→ ブライトネス調整をします。
調整方法については P.25 を参照ください。

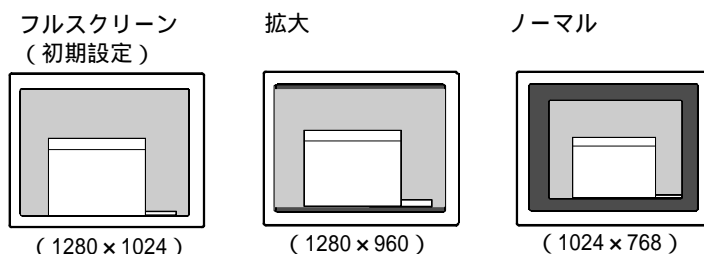
4-2. 低解像度の画面を表示した場合

低解像度の画面は自動的に画面いっぱいに表示されますが、＜その他＞メニューの＜拡大モード＞機能を使用して表示サイズの切り替えが可能です。

1. 画面の表示サイズを変更する場合
→ 拡大モードで切り替えます。

＜その他＞メニューより＜拡大モード＞を選択し、上･下のコントロールボタンでモード（拡大 / ノーマル）を選択します。

フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦･横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦･横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例:1024×768を表示した場合

2. 文字や線がぼやけてみえる場合
→ [icon] スムージング調整をします。

低解像度を「フルスクリーン」、「拡大」モードにて表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

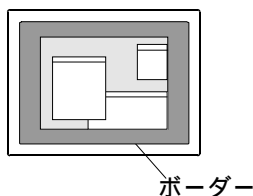
＜ピクチャー調整＞メニューより＜スムージング＞を選択し、1〜5段階（ソフト〜シャープ）からお好みに応じて選択します。

注意点

- **＜スムージング＞アイコンは以下の解像度では選択できません。**
  - *** 1280 × 1024 の場合**
  - *** ＜拡大モード＞で解像度を２倍に拡大した場合（例：640 × 480 を 1280 × 960 に拡大設定）**

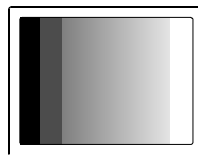
3. 画像の表示されない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合
→ [icon] ボーダーで設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画面の周囲に画像の表示されない暗い部分が表示されます。

＜その他＞メニューより＜ボーダー＞を選択し、左･右のコントロールボタンで調整します。

4-3. カラー調整

ScreenManager の＜ColorManagement＞メニューで画面のカラーを調整できます。

カラー調整の前に

- 調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。）
- カスタムモードでカラーの調整をおこなった場合は、必ず＜セーブ＞を選択し、調整した状態を記憶させてください。セーブせずに電源をオフすると、調整状態は失われます。
- 各調整値は目安としてご利用ください。
- ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。
- アナログ信号入力において、カラーの調整をおこなうときは、まずはじめに＜レンジ調整＞をおこなってください。（p.25参照）
  ＜レンジ調整＞は右図のようなグラデーション画面を表示しておこなうことをおすすめします。

1. 色温度p.46）の選択

→ K 色温度を選択します。

4,000K～10,000Kまで500K単位で選択します（9,300K含む）。初期設定は「オフ」です。

カスタムモードで色温度を変更した場合には、＜セーブ＞を選択し、調整値を記憶させてください。

参考

- 4,000Kより低く、あるいは10,000Kより高く設定すると、設定が「オフ」になります。
- ＜ゲイン調整＞（p.30参照）をおこなうと、設定した色温度は無効となり、「オフ」に変わります。

2. 色を鮮やかにする場合

→ 色の濃さで調整します。

-16～16の間で調整します。最小値（-16）で白黒の画面となります。

調整後は<セーブ>を選択し、調整値を記憶させます。

注意点

- **本機能を使用することにより、全ての色階調を表示できないことがあります。**

3. 肌色などを好みの色合いにする場合

→ 色合いで調整します。

-20～20の間で調整します。

調整後は<セーブ>を選択し、調整値を記憶させます。

注意点

- **本機能を使用することにより、全ての色階調を表示できないことがあります。**

4. 赤･緑･青をそれぞれ調整し、好みの色調にする場合

→ ゲインp.46) で色調を調整します。

赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。

100%の状態が何も調整していない状態となります。背景が白またはグレーの画面を表示して調整してください。

調整後は<セーブ>を選択し、調整値を記憶させます。

参考

- 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。
- 本設定は<色温度>（p.29参照）の設定をすると無効となります。ゲインの設定は何も調整していない状態（すべての色が100%）に変わります。

4-4．節電設定について

注意点

- **完全な節電のためにはディスプレイの電源をオフすることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイへの電源供給は停止します。**
- **ディスプレイが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためディスプレイの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。**

アナログ信号入力

本機は「VESA DPMS[p.47)]」に準拠し、さらにスクリーンセーバー（模様なし）など、ブランク（黒）の画面に連動する「EIZO MPMS[p.46)]」を採用しています。

1. コンピュータの節電機能「VESA DPMS」を使用する場合：

[設定方法]

① コンピュータの節電機能を設定します。

② ＜ PowerManager ＞メニューより、＜ VESA DPMS ＞を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態		ディスプレイの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄

[復帰方法] キーボードまたはマウスを操作します。

2. スクリーンセーバー（黒画面）に連動させる場合:

[設定方法]

① コンピュータのスクリーンセーバーの｢模様なし｣や画面がブランク（黒）になるパターンを設定します。

② ＜PowerManager＞メニューより＜EIZO MPMS＞を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
・スクリーンセーバーが 働く ・省エネルギー設定が働く (Macintosh)	節電モード	黄

[復帰方法] キーボードまたはマウスを操作します。

注意点

- **Macintosh の「省エネルギー設定」をご使用の場合は＜ EIZO MPMS ＞を設定してください。**

デジタル信号入力

本機は DVI DMPM(p.46) に準拠しています。

[設定方法]

① コンピュータの節電機能を設定します。
② ＜ PowerManager ＞メニューより＜ DVI DMPM ＞を選択します。

[節電の流れ]　コンピュータの設定に連動し５秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
節電モード	節電モード	黄
オフモード	節電モード※1	黄点滅（2回ずつ）

※1 コンピュータ / オフモードはプライオリティ機能が＜マニュアル＞に設定されている場合のみ有効です。

[復帰方法]

コンピュータ / 節電モードからの復帰：キーボードまたはマウスを操作します。
コンピュータ / オフモードからの復帰：コンピュータの電源を入れます。

第5章 USB（Universal Serial Bus）の活用
ー USB対応のシステム環境の方にー

本機はUSB規格に対応しているハブを搭載しています。
USB対応のコンピュータまたは他のUSBハブに接続することにより、本機がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器を接続できます。

必要なシステム環境

- USBポートを搭載したコンピュータ、
  あるいはUSB対応のコンピュータに接続している他のUSBハブ
- Windows 98/Me/2000 または Mac OS 8.5.1 以降
- EIZO USB ケーブル(MD-C93)

注意点

- **使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。**
- **ディスプレイの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機器は動作しません。**
- **ディスプレイが節電モードの状態に入っても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。**

5

USB の活用

接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

注意点

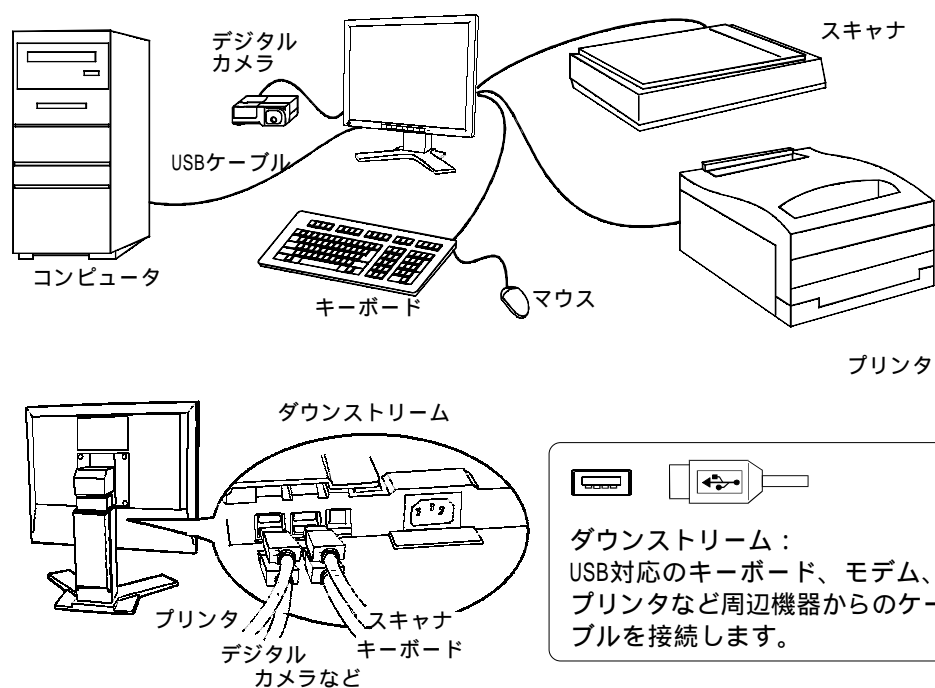
- **USB 機能のセットアップが完了するまで、ディスプレイのダウンストリームに周辺機器を接続しないでください。**
- **以下は Windows 98/Me/2000 および Mac OS の場合の手順になります。**

1. はじめにコンピュータとディスプレイを信号ケーブルで接続し（p.15参照）、コンピュータを起動しておきます。

2. USB対応のコンピュータ（あるいは他のUSBハブ）のダウンストリームとディスプレイのアップストリームをUSBケーブルで接続します。

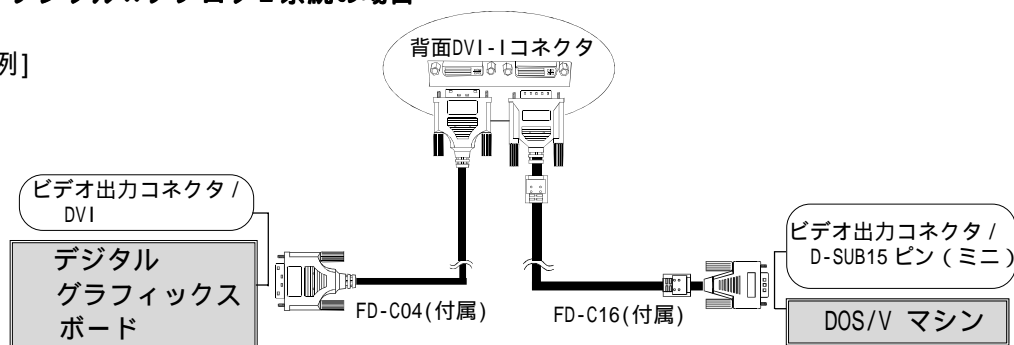
USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

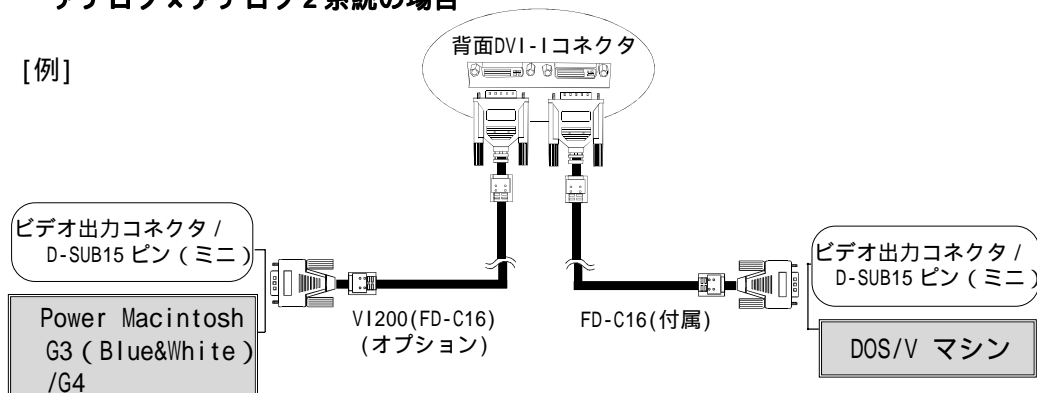
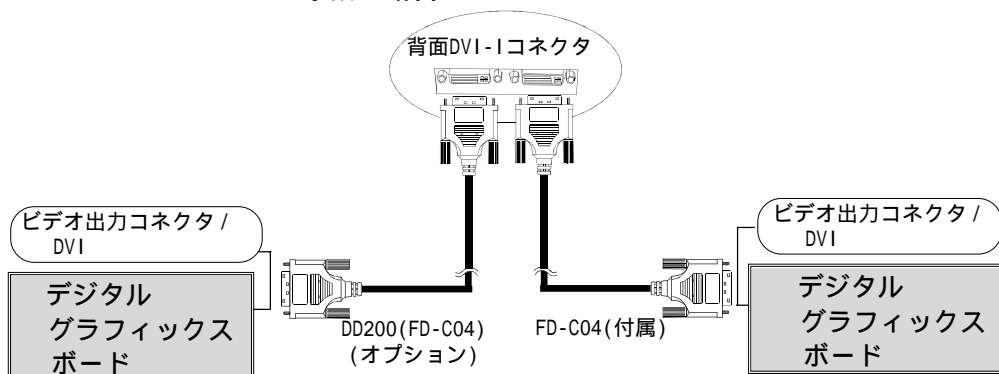
3. セットアップが完了すると、ディスプレイがUSBハブとして機能し、さまざまなUSB対応の周辺機器をディスプレイのUSBポート（ダウンストリーム）に接続することができます。

（接続例）

第6章 2台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面のシグナル1、シグナル2コネクタに2台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

● デジタル×アナログ2系統の場合

[例]

● アナログ×アナログ2系統の場合

[例]

● デジタル×デジタル2系統の場合

入力信号の切り替え方法

入力切替ボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には現在表示されている信号の種類（シグナル１または２/アナログまたはデジタル）が画面右上に2秒間表示されます。

優先的に表示される信号を設定する

2台のコンピュータを接続した時、どちらか一方のコンピュータを優先的に表示させることができます。ディスプレイは定期的に入力信号を確認し、＜入力プライオリティ＞設定で優先のおかれている信号が入力されてきた場合、そちらの信号に自動で切り替わります。

コンピュータが1台しか接続されていない場合は、優先信号がシグナル1またはシグナル2のどちらに設定されていても、信号は自動検知されます。

優先設定	機能
シグナル１	コンピュータが２台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 ● ディスプレイの電源を入れたとき。 ● 入力信号がシグナル2であっても、シグナル１の信号状態が変化した場合。
シグナル２	コンピュータが２台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 ● ディスプレイの電源を入れたとき。 ● 入力信号がシグナル１であっても、シグナル２の信号状態が変化した場合。
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。 表示させたいコンピュータの信号が接続されているコネクタをフロントパネルの入力切替ボタンで選択してください。

参考

● 節電機能に関して
＜入力プライオリティ＞でシグナル１またはシグナル２が選択されている場合は、2台のコンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみディスプレイの節電機能が動作します。

第 7 章 アーム取付方法

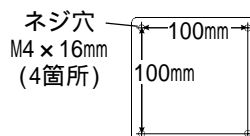
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- **本機に取り付けるアーム（またはスタンド）は、以下の点に注意してお選びください。**
  - **VESA 規格に適合しているもの**

    【VESA 規格内容】

    *** 取り付ける部分のネジ穴間隔が 100 × 100㎜ のもので、本機スタンドを固定しているネジ （M4 × 16㎜）で取り付けができるもの（右図参照）**

    *** 13.5kg までの重さに耐えられるもの**
  - **本機を取り付けても外れたり、倒れたりしないもの**
  - **手で動かした位置に留まるもの**
  - **前後に動かすことができるもの**

- **ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。**

取付方法

1. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

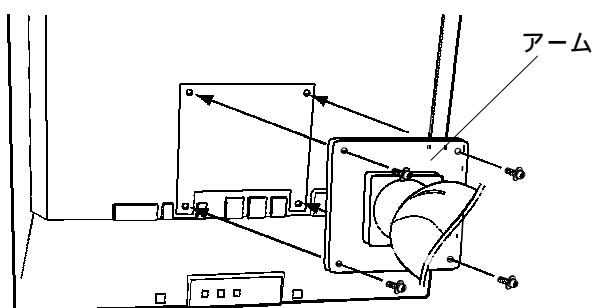
2. スタンド部分を取り外します。（ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ（M4 × 16㎜　Ni/Fe：４箇所）を取り外します。

3. ディスプレイをアーム（またはスタンド）に取り付けます。

⚠ 警告

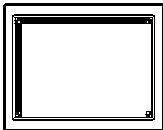
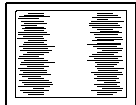
- **アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機スタンドを固定しているネジを使用し、確実に設置する**

  確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず、同じネジを使用してください。

取り付け用ネジ ①②③④：M4 × 16㎜

参考

- 本機を縦型にして使用する場合は、時計回りに回転させてください。（別途、縦型表示用のソフトウェアが必要です。）

第8章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
画面が表示されない場合→項目1、2を参照してください。
画面に関する症状→項目3～13を参照してください。
USBに関する症状→項目19～20を参照してください。
その他の症状→項目14～18を参照してください。

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 画面が表示されない ● 電源ランプが点灯しない	□ 電源コードが正しく差し込まれていますか。 □ 電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
● 電源ランプが点灯する <緑色> <黄色> <黄色（ゆっくり点滅）>	□ コントラストおよびブライトネスの設定を確認してみてください。 □ マウス、キーボードを操作してみてください。（→ p.31参照） □ 電源ボタンを押してみてください。
2. 以下のような画面が表示される（この表示は約40秒間表示されます。） ● 信号が入力されていない場合の表示です。 	この表示はディスプレイが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 □ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 □ コンピュータの電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 □ 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。
● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の信号は赤色で表示されます。） 例： 	□ グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント / 対処方法
3. 画像の位置が適正でない	□ ＜ポジション＞調整にて画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。（→p.24参照） □ ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される	□ ＜解像度＞で入力信号の解像度と解像度調整画面の解像度が合うように調整してください。（→p.24参照）
5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	□ ＜クロック調整＞で調整してみてください。（→p.23参照）
6. 画面全体がちらつく、にじむように見える	□ ＜フェーズ調整＞で調整してみてください。（→p.23参照）
7. 文字がぼやけて見える	□ ＜スムージング＞で調整してみてください。（→p.28参照）
8. 表示された画面の上部が下図のように歪む	□ コンポジットシンク（X-OR）の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
9. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	□ ＜コントラスト･ブライトネス＞を調整してください。（液晶ディスプレイのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。）
10. 残像が現れる	□ 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。 長時間同じ画面を表示するようなときには、タイマー機能の活用をおすすめします。（→p.21参照）

症状	チェックポイント / 対処方法
11. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	□ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
12. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	□ 表示されている画面を黒い画面に変更してみてください。症状が解消されることがあります。
13. 表示された画面にノイズがある	□ ピクチャー調整の＜信号フィルタ＞でモードを切り替えてみてください。
14.ScreenManager において、＜ピクチャー調整＞の＜スムージング＞アイコンが選択できない	□ 以下の解像度においては選択できません。 1280 × 1024 の場合 □ ＜拡大モード＞で解像度を 2 倍に拡大した場合選択できません。（例：640 × 480 を 1280 × 960 に拡大設定）
15.Macintosh をご使用の場合「EIZO LCD ユーティリティディスク」が読み込めない	□ ディスクを読み込むにはシステムに‘PC Exchange’あるいは‘File Exchange’がインストールされていることが必要です。 ディスクが読み込めず、「画面調整用プログラム」が利用できない場合でも、１ドット抜きのパターンを表示することで対応できます。（→p.22参照）
16.ScreenManager が起動できない / オートボタンが効かない	□ 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（→ p.20 参照）
17. オートボタンが正しく動作しない	□ この機能は Macintosh や Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。 DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症状	チェックポイント / 対処方法
18.Windows 95/98/Me/2000 において、ユーティリティディスクをインストールしても周波数が変わらない	□ グラフィックスボードのユーティリティソフトを使用して入力信号周波数を変えてみてください。
19.USB 機能のセットアップができない	□ USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 □ ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください。 （各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。） □ Windows 98/Me/2000 をご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。）
20. コンピュータが動作しない / 接続した周辺機器が動作しない	□ USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 □ 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。 □ 次の動作を試してみてください。 ・コンピュータを再起動してみる ・直接コンピュータと周辺機器を接続してみる ディスプレイ（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 □ Apple USB キーボードを本機の USB ポートに接続した場合、キーボード上の電源ボタンは機能しません。キーボード上の電源ボタンを機能させるには直接コンピュータ本体と接続してください。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

第9章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- **溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。**

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布をご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第10章 仕様

液晶パネル	46cm（18.1）型カラーTFT、乱反射ハードコーティング 視野角：上下 170°、左右 170°（コントラスト比 CR≧10）
ドットピッチ	0.280mm
水平走査周波数	27kHz～82kHz（自動追従）
垂直走査周波数	50Hz～85Hz （自動追従） （1280×1024モード時は50Hz～75Hz） デジタル信号入力時：60Hz、70Hz（VGA TEXT時）
解像度	1280ドット×1024ライン
ドットクロック（最大）	135MHz デジタル信号入力時：108MHz
最大表示色	1677万色
表示サイズ（水平×垂直）	359mm×287mm
電源	100VAC±10%、50/60Hz、0.8A
消費電力	最小（通常）：56W 最大：76W（オプションスピーカーおよびUSB使用時） 節電モード：5W以下（オプションスピーカーおよびUSB機器未接続時） 電源スイッチオフ時：0W
信号入力コネクタ	DVI-Iコネクタ×2
アナログ信号入力同期信号	a）セパレート、TTL、正/負極性
	b）コンポジット、TTL、正/負極性
	c）シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性
アナログ信号入力映像信号	アナログ、正極性（0.7Vp-p/75Ω）
デジタル信号伝送方式	TMDS （Single Link）
ビデオ信号メモリー	28種 （プリセット24種） デジタル信号入力時 10種（プリセット0種）
プラグ＆プレイ機能	VESA DDC 2B
本体寸法	399mm(幅)×423.5mm(高さ:最小時)×208.5mm(奥行き)
（スタンドを取り外した時）	399mm(幅)×328mm(高さ)×65mm(奥行き)
スタンド昇降範囲	80mm
重量（本体）	9.5kg
（スタンドを取り外した時）	6.0kg
環境条件	動作温度範囲：0℃～35℃、 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃、 相対湿度範囲：30%～80% R.H.（非結露状態）
適合規格	TCO'99※、VCCI クラスB、TÜV Rheinland/Sマーク、 TÜV/Rheinland Ergonomics Approved
USB関連	USB規格：Rev.1.1準拠 通信速度：12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード） ダウンストリーム供給電流：最大500mA/1ポート USBポート：アップストリーム×1、ダウンストリーム×4

（※TCO'99：標準色（グレー）キャビネット仕様のみ適合）

主な初期設定（工場出荷設定）値

設定項目	設定値
コントラスト	100%
ブライトネス	100%
スムージング	3
ColorManagement	カラーモード:スタンダード 色温度:オフ
PowerManager	VESA DPMS DVI DMPM（デジタル信号時）
拡大モード	フルスクリーン
入力プライオリティ	シグナル1
オフタイマー	無効
メニュー設定	メニューサイズ:ノーマル メニューオフタイマー:45秒
ビープ音	オン
言語選択	日本語

ビープ音設定

ピッという音	・エンターボタンで項目を選択した場合 ・コントロールボタンで設定値を最大または最小にした場合 ・フロントパネルの入力切り替えボタンを押した場合
ピーという音	・フロントパネルのオートボタンを押した場合 ・エンターボタンで登録をおこなった場合
ピッピッピッピッという音	・ディスプレイの接続が正しくおこなわれていない場合 ・コンピュータの電源が入っていない場合 ・仕様範囲外の周波数を受信している場合
15秒に1度ピッピッという音	・オフタイマーで設定した電源オフ時間終了15分前（予告期間）

第11章 用語集

残像現象

同じ画面を長時間表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。

クロック

アナログ入力方式のディスプレイにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

DVI

(Digital Visual Interface)
デジタルインターフェース規格の一つ。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI-DMPM

(DVI Digital Monitor Power Management)
デジタルインターフェースの節電機能のこと。モニターのパワー状態についてはMonitor ON（オペレーションモード）とActive Off（節電モード）が必須となっています。）

EIZO MPMS

(EIZO Monitor PowerManager Signaling)
当社が採用している節電機能のことです。コンピュータからのビデオ信号を判別することによって、ディスプレイの消費電力を抑えるしくみになっています。

ゲイン調整

赤、緑、青のそれぞれの色の値を調整するものです。液晶ディスプレイではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の３原色であり、画面上に表示されるすべての色は３色の組み合わせによって構成されます。３色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングのタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といい、クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行うことでクリアな画像が得られます。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。L676の場合には横1280個、縦1024個の画素がそれぞれ敷き詰められています。1280×1024の解像度であれば、画像は画面いっぱいに表示されますが、640×480や800×600などの低解像度の画像は画面の中央に小さく表示されます。

TMDS

(Transition Minimized Differential Signaling)
デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つ。

VESA DPMS

(Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)
VESAでは、コンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMSはコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

・5000K：　やや赤みがかった白色
・6500K：　暖色で紙色に近い白色
・9300K：　やや青みがかった白色

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、全ての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

第 12 章 さくいん

A ～ Z

あ～お

か～こ

さ～そ

た～と

な～の

は～ほ

ま～も

や〜よ

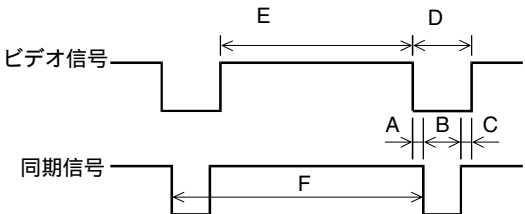
ら〜ろ

12
さくいん

第13章 付録

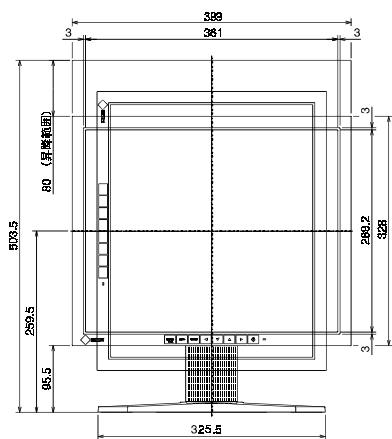
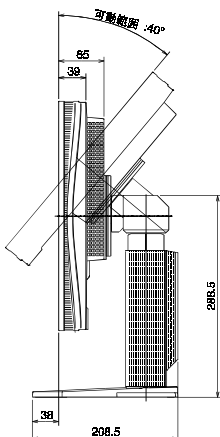
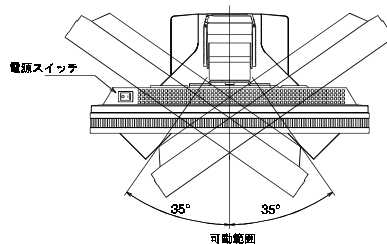
プリセットタイミング

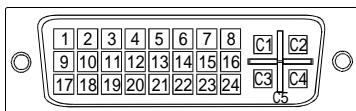
工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドット クロック		極性	周波数 水平:kHz ,垂直:Hz	A:フロントポーチ
VGA 640 x 480	25.175 MHz	水平	負	31.468	0.636 / 16
		垂直	負	59.941	0.318 / 10
VGA 720 x 400	28.322 MHz	水平	負	31.468	0.636 / 18
		垂直	正	70.087	0.381 / 12
Macintosh 640 x 480	30.24 MHz	水平	負	35.00	2.116 / 64
		垂直	負	66.67	0.086 / 3
Macintosh 832 x 624	57.28 MHz	水平	負	49.73	0.559 / 32
		垂直	負	74.55	0.020 / 1
Macintosh 1152 x 870	100.0 MHz	水平	負	68.68	0.320 / 32
		垂直	負	75.06	0.044 / 3
Macintosh 1280 x 960	126.2 MHz	水平	負	74.763	0.190 / 24
		垂直	負	74.763	0.013 / 1
PC-9821 640 x 400	25.197 MHz	水平	負	31.50	0.635 / 16
		垂直	負	70.15	0.413 / 13
VESA 640 x 480	31.5 MHz	水平	負	37.86	0.508 / 24
		垂直	負	72.81	0.026 / 9
VESA 640 x 480	31.5 MHz	水平	負	37.5	0.508 / 16
		垂直	負	75.00	0.027 / 1
VESA 640 x 480	36.0 MHz	水平	負	43.27	1.556 / 56
		垂直	負	85.01	0.023 / 1
VESA 800 x 600	36.0 MHz	水平	正	35.16	0.667 / 24
		垂直	正	56.25	0.028 / 1
VESA 800 x 600	40.0 MHz	水平	正	37.88	1.000 / 40
		垂直	正	60.32	0.026 / 1
VESA 800 x 600	50.0 MHz	水平	正	48.08	1.120 / 56
		垂直	正	72.19	0.770 / 37
VESA 800 x 600	49.5 MHz	水平	正	46.88	0.323 / 16
		垂直	正	75.00	0.021 / 1
VESA 800 x 600	56.25 MHz	水平	正	53.674	0.569 / 32
		垂直	正	85.061	0.019 / 1
VESA 1024 x 768	65.0 MHz	水平	正	48.36	0.369 / 24
		垂直	正	60.00	0.062 / 3
VESA 1024 x 768	75.0 MHz	水平	正	56.48	0.320 / 24
		垂直	正	70.07	0.053 / 3
VESA 1024 x 768	78.75 MHz	水平	正	60.02	0.203 / 16
		垂直	正	75.03	0.017 / 1
VESA 1024 x 768	94.5 MHz	水平	正	68.68	0.508 / 48
		垂直	正	85.0	0.015 / 1
VESA 1280 x 1024	108.0 MHz	水平	正	63.98	0.444 / 48
		垂直	正	60.02	0.016 M/ 1
VESA 1280 x 1024	135.0 MHz	水平	正	79.97	0.119 / 16
		垂直	正	75.02	0.013 / 1
WS 1152 x 900	94.200 MHz	水平	コンポジット シンク、負	61.974	0.425 / 40
		垂直		66.141	0.032 / 2
WS 1152 x 900	107.50 MHz	水平	コンポジット シンク、負	71.858	0.223 / 24
		垂直		76.202	0.028 / 2
WS 1280 x 1024	117.50 MHz	水平	コンポジット シンク、負	71.691	0.205 / 24
		垂直		67.189	0.028 / 2

B:同期パルス幅	C:バックポーチ	D:ブランキング期間	E:表示期間	F:同期
	水平:μs / ドット ,垂直:ms / ライン			
3.813 / 96	1.907 / 48	6.356 / 160	25.442 / 640	31.778 / 800
0.054 / 2	1.048 / 33	1.430 / 45	15.254 / 480	16.683 / 525
3.813 / 108	1.907 / 54	6.356 / 180	25.422 / 720	31.778 / 900
0.064 / 2	1.111 / 35	1.556 / 49	12.712 / 400	14.268 / 449
2.116 / 64	3.175 / 96	7.407 / 224	21.164 / 640	28.571 / 864
0.086 / 3	1.114 / 39	1.286 / 45	13.714 / 480	15.000 / 525
1.117 / 64	3.911 / 224	5.586 / 320	14.524 / 832	20.111 / 1152
0.060 / 3	0.784 / 39	0.865 / 43	12.549 / 624	13.414 / 667
1.280 / 128	1.440 / 144	3.040 / 304	11.520 / 1152	14.560 / 1456
0.044 / 3	0.568 / 39	0.655 / 45	12.667 / 870	13.322 / 915
1.204 / 152	1.838 / 232	3.233 / 408	10.143 / 1280	13.376 / 1688
0.040 / 3	0.482 / 36	0.535 / 40	12.841 / 960	13.376 / 1000
2.540 / 64	3.175 / 80	6.350 / 160	25.400 / 640	31.750 / 800
0.063 / 2	1.079 / 34	1.556 / 49	12.700 / 400	14.256 / 449
1.270 / 40	3.810 / 128	5.587 / 192	20.317 / 640	26.413 / 832
0.079 / 3	0.528 / 28	0.634 / 40	12.678 / 480	13.735 / 520
2.032 / 64	3.810 / 120	6.349 / 200	20.317 / 640	26.667 / 840
0.080 / 3	0.427 / 16	0.533 / 20	12.800 / 480	13.333 / 500
1.556 / 56	2.222 / 80	5.333 / 192	17.778 / 640	23.111 / 832
0.069 / 3	0.578 / 25	0.670 / 29	11.093 / 480	11.764 / 509
2.000 / 72	3.556 / 128	6.222 / 224	22.222 / 800	28.444 / 1024
0.057 / 2	0.626 / 22	0.711 / 25	17.067 / 600	17.778 / 625
3.200 / 128	2.200 / 88	6.400 / 256	20.000 / 800	26.400 / 1056
0.106 / 4	0.607 / 23	0.739 / 28	15.840 / 600	16.579 / 628
2.400 / 120	1.280 / 64	4.800 / 240	16.000 / 800	20.800 / 1040
0.125 / 6	0.478 / 23	1.373 / 66	12.480 / 600	13.853 / 666
1.616 / 80	3.232 / 160	5.172 / 256	16.162 / 800	21.333 / 1056
0.064 / 3	0.448 / 21	0.533 / 25	12.800 / 600	13.333 / 625
1.138 / 64	2.702 / 152	4.409 / 248	14.222 / 800	18.631 / 1048
0.056 / 3	0.503 / 27	0.578 / 31	11.179 / 600	11.756 / 631
2.092 / 136	2.462 / 160	4.923 / 320	15.754 / 1024	20.677 / 1344
0.124 / 6	0.600 / 29	0.786 / 38	15.880 / 768	16.666 / 806
1.813 / 136	19.20 / 144	4.053 / 304	13.653 / 1024	17.707 / 1328
0.106 / 6	0.513 / 29	0.673 / 38	16.599 / 768	14.272 / 806
1.219 / 96	2.235 / 176	3.657 / 288	13.003 / 1024	16.660 / 1312
0.050 / 3	0.466 / 28	0.533 / 32	12.795 / 768	13.328 / 800
1.016 / 96	2.201 / 208	3.825 / 352	10.836 / 1024	14.561 / 1376
0.044 / 3	0.524 / 36	0.582 / 40	11.183 / 768	11.765 / 808
1.037 / 112	2.296 / 248	3.778 / 408	11.852 / 1280	15.630 / 1688
1.037 / 3	0.594 / 38	0.656 / 42	16.005 / 1024	16.661 / 1066
1.067 / 144	1.837 / 248	3.022 / 408	9.481 / 1280	12.504 / 1688
0.038 / 3	0.485 / 38	0.525 / 42	12.804 / 1024	13.329 / 1066
1.359 / 128	2.123 / 200	3.907 / 368	12.229 / 1152	16.136 / 1520
0.065 / 4	0.500 / 31	0.597 / 37	14.522 / 900	15.119 / 937
1.265 / 136	1.712 / 184	3.200 / 344	10.716 / 1152	13.916 / 1496
0.111 / 8	0.459 / 33	0.598 / 43	12.525 / 900	13.123 / 943
0.957 / 112	1.846 / 216	3.009 / 352	10.940 / 1280	13.949 / 1632
0.112 / 8	0.460 / 33	0.600 / 43	14.283 / 1024	14.883 / 1063

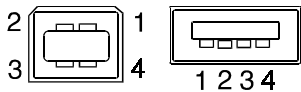
注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManagerで画面の調整が必要になる場合があります。
- 上記以外の信号を入力した場合は、ScreenManagerで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、ScreenManagerで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

外観寸法

入力信号接続

● DVI-I コネクタ

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock Shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+
4	NC※	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC	15	Ground(return for+5V,Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock(SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data(SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC		

※ NC: No Connection

● USB ポート
(USB Revision1.1 による)

シリーズ B コネクタ　シリーズ A コネクタ

接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

（*TCO'99*：標準色（グレー）キャビネット仕様のみ適合）

このたびTCO'99認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私どもTCO'99にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょう？

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足のいく方法でリサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまいます。

この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境（内的）と自然環境（外的）という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響（例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など）をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょう？

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供するTCO'99の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO(スウェーデン労働者組合)、Svenska Naturskyddsföreningen(スウェーデン環境保護団体)、Statens Energimyndighet（スウェーデンエネルギー局）による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界輻射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。

TCO'99は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC(フロン)、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス（身体面および視覚面)、有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛てに要求することができます。

►TCO Development Unit
S-114 94 Stockholm, Sweden
Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet): development@tco.se

TCO'99の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。 ►http://www.tco-info.com/

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの30%までが、難燃物質によってできている場合もあります。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCBとも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤とPCBは、生体畜積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。

►TCO'99は25g以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないため是認されています。

カドミウム **

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

►TCO'99は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀 **

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

►TCO'99は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求してます。

CFC（フロン）

►TCO'99はCFCならびにHCFCを製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC（フロン）はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFCはオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん（悪性黒色腫）になる危険性などが高まります。

鉛 **

鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると鉛中毒を引き起こします。

►鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99は鉛の含有を認めています。

* 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。
** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- お買い上げ後、保証書に付属している「３年間保証登録カード」に必要事項を記入し、保証書と切り離して必ずご返送ください。
- 保証期間は、お買い上げの日より３年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低５年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX番号
- お買い上げ年月日
- 販売店名
- モデル名
- 製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている８けたの番号です。　例）S/N 12345678 ）
- 使用環境
  （コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しください。
- 本製品は、使用後に産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。最寄りの弊社営業所またはエイゾーサポートにお問い合わせください。